専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	エンタテインメント業界基礎講座	授業形態/必・選	講義	必修
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	40回(80単位時間)	年間単位数 5単位
科目設置学科コース	<<音楽芸能スタッフ科>> 企画制作コース/舞台製作コース			
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目		該当 ☒	非該当 ☐
担当講師 実務経歴	実務経験:22年。 ポストプロダクションにてアシスタントオペレーターを経験後、プロダクションや音楽出版社にてマネジメント、ファンクラブ、宣伝、営業、デスク、経理と様々な業務に従事。メジャーからインディーズ・シーンまで、幅広い人脈を活かして活動中。			
授業概要				
エンターテインメント業界を目指すためのノウハウを学ぶ。社会人としてのマナー講座・キャリアトレーニング。				
到達目標				
秘書検定取得を目指す。				

授業計画・内容	
【前期】 1～5回目	エンターテインメント業界の構図 芸能業界の全体像 プロダクションの業務内容
【前期】 6～10回目	レコード会社の業務内容 著作権について
【前期】 11～15回目	音楽出版社の業務内容 放送局/出版社/Webメディア TV・ラジオの業務内容
【前期】 16～20回目	ポストプロダクション 映像制作会社/編集スタジオ/MAスタジオ/音プロ RECスタジオ/マスタリングスタジオ/リハーサルスタジオ
【後期】 1～4回目	キャリアトレーニング授業概要 必要とされる資質 心構え・条件
【後期】 5～8回目	職務知識 役割・機能・職務 一般知識 企業の基礎知識・企業の組織と活動・社会常識
【後期】 9～12回目	マナー・接遇 人間関係と話し方・聞き方の応用 マナー・接遇 電話の応対・交際
【後期】 13～16回目	技能 ・会議と秘書 ・ビジネス文書と秘書 ・文書管理/資料管理/日程管理 ・オフィス管理
【後期】 17～20回目	秘書検定試験対策 ビジネスマナー 必要とされる資質・企業実務/対人関係・技能
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
学生へのメッセージ	「音楽業界のルール」、そして「一般社会のルール」 専門知識以外知らなくては、いけない事が多いです。 良い大人になる為頑張りましょう!
使用教科書	秘書検定テキスト

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	一般教養講座	授業形態 / 必・選	講義	必修	
		年次	1年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	40回(80単位時間)	年間単位数	5単位
科目設置学科コース	<<音楽芸能スタッフ科>> 企画制作コース/舞台製作コース/PAコース/照明コース/ローディーコース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目		該当 ☐	非該当 ☒	
担当講師 実務経歴					
授業概要					
「コミュニケーション能力」「状況判断能力」「説明能力」の3点をテーマとした講義。					
到達目標					
社会人としての基礎的スキルの習得。					

授業計画・内容	
【前期】 1～5回目	グループワークの基本 状況説明 ・地図、図形、絵の言語化 ・話の整理、要約
【前期】 6～10回目	文章講座 ・「話し言葉」と「書き言葉」 ・日本語の基本構文、5W1H
【前期】 11～15回目	ビジネス文書 ・ビジネスメール ・社内文書
【前期】 16～20回目	ビジネス文書 ・社外文書 ・社交文書
【後期】 1～4回目	コミュニケーション ・概論 ・非言語コミュニケーション ・言語コミュニケーション ・説得的コミュニケーション
【後期】 5～8回目	敬語 ・敬語の種類 ・尊敬語の使い方 ・謙譲語の使い方
【後期】 9～12回目	敬語 ・実践 間違いやすい敬語、仕事でよく使われる敬語
【後期】 13～16回目	心理学講座 ・人の錯覚、思い込み ・自分を知る(心理テスト) ・他者からの影響、社会からの影響 ・自分の長所、他者との関わり方
【後期】 17～20回目	就活に向けて ・音楽に関わる仕事、自分に向いている仕事 ・情報収集について ・履歴書を書く
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
学生へのメッセージ	社会に出てから必要とさせるビジネスマナー 恥ずかしくない人間構築を目指しましょう!
使用教科書	随時テキスト配布

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	クリエイティブPC講座 I	授業形態 / 必・選	講義	必修
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	84回(168単位時間)	年間単位数 11単位
科目設置学科コース	≪音楽芸能スタッフ科≫ 企画制作コース/舞台製作コース/ライブハウスコース			
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目 該当 ☒ 非該当 ☐			
担当講師 実務経歴	実務経験:27年 デザイン会社で雑誌・パンフレット制作を担当。 DTP(デスクトップパブリッシング)のデザイン制作から広告などの企画提案・制作・ディレクション業務に至る一連の業務に従事。			
授業概要				
Excel、Illustrator、Photoshop、Dreamweaver等のアプリケーションソフトの基本的な使用方法を学ぶ。				
到達目標				
イベントロゴデザイン、フライヤー&チケットデザイン作業のノウハウ修得。 Webによる広報作業の技術力の修得。				

授業計画・内容	
【前期】 1～10回目	Excel ・時間割の作成・セル内縮小・改行・関数 ・アートワード・図形描画・重なり合い・タイムテーブル作成
【前期】 11～20回目	色彩 ・RGBとCMYK・キーとの組み合わせ他・フォントの用法・ペンツール練習 ・ダイレクト選択ツール・重なり合い
【前期】 21～30回目	Illustrator ・トレース練習・図形描画・レイヤー・文字ツール・テキストエリア・整列・パス ファイン・スポイト・はさみ等・Illustrator&PDFデータ作成 入稿データ作成手
【前期】 31～40回目	Photoshop ・調整レイヤーによる補正・選択範囲の作り方・クイックマスク illustrator&photoshop 入稿データ作成
【後期】 1～8回目	web 基礎知識(Dreamweaver) ・インターネットの仕組み、ネットリテラシー等 ・拡張子による形式の違い/カラーコード 16進数
【後期】 9～16回目	web 制作(Dreamweaver) ・タグの使用ルール・基本的なタグ サンプルページの作成 ・要素・属性・値/align・imgなど・絶対パスと相対パス
【後期】 17～24回目	web 制作(Dreamweaver) ・Illustrator&photoshopでWeb用画像素材の作成 ・サンプルページ完成
【後期】 25～32回目	web 復習 CSSの使い方・違い・使い分け
【後期】 33～44回目	gifアニメの作成 サンプルページをDreamweaverを使用して作成
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
学生へのメッセージ	就職で必要とさせるパソコンスキル より高度な技術取得を目指していきましょう
使用教科書	学園MAC使用

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	イベント制作実習		授業形態 / 必・選	実習	必修
			年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	80回(160単位時間)	年間単位数	5単位
科目設置学科コース	≪音楽芸能スタッフ科≫ 企画制作コース/舞台製作コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目		該当 ☒	非該当 ☐	
担当講師 実務経歴	実務経験:32年 大道具会社～舞台監督会社を経て、現在海外アーティストを含む数多くのアーティストの全国ツアーを手掛けている舞台監督。				
授業概要					
企画制作コース/舞台製作コース合同でイベントづくりの末端を担います。 より良い舞台スタッフをまとめる事を重点に多くの事を学んでいきます。					
到達目標					
スムーズな進行を行う為のコミュニケーション能力の向上。 イベント制作、進行のノウハウの習得。					

授業計画・内容	
【前期】 1～10回目	制作とは/制作会社とイベント会社の違い 制作の役割 舞台監督の役割/進行の重点
【前期】 11～20回目	舞台用語の基礎 各セクションの役割を知る 尺貫法
【前期】 21～30回目	山台組の基礎 舞台監督/進行/ライブの一日の流れ タイムテーブルの作り方
【前期】 31～40回目	立ち位置/バミリ/導線/ケーブル養生 図面の描き方/読み方 工具の使い方
【後期】 1～8回目	基本的な楽器セッティング バンド転換 積み込み
【後期】 9～16回目	簡単な製作物 重量物の扱い 楽器ケースの扱い
【後期】 17～24回目	日本地図 県名/県庁所在地の確認 ツアー行程表
【後期】 25～32回目	ツアーを作る セットリスト作成 プロンプターについて
【後期】 33～40回目	プロンプター譜割り 各種税金の種類について
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
学生へのメッセージ	制作作業は、細部にわたる調整・運営作業がチームの絆を生み出します。 より良い舞台スタッフをまとめる事が重要です。
使用教科書	オリジナルPDFテキスト

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	舞台製作実習 I-A	授業形態 / 必・選	実習	必修
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	84回(168単位時間)	年間単位数 5単位
科目設置学科コース	<<音楽芸能スタッフ科>> 舞台製作コース			
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目	該当	☒	非該当 ☐
担当講師 実務経歴	実務経験:32年 大道具会社～舞台監督会社を経て、現在海外アーティストを含む数多くのアーティストの全国ツアーを手掛けている舞台監督。			
授業概要				
大道具作業教室にて工具を使用して製作物の技術力を高める。 MACを使用してタイムテーブルの作成				
到達目標				
舞台監督／大道具／舞台スタッフとしての基本の習得。				

授業計画・内容	
【前期】 1～10回目	舞台用語の基礎 ・下手～上手 ・ステージ奥～手前、袖、裏導線
【前期】 11～20回目	舞台用語の基礎 ・框、大迫・小迫、スライディングステージ、オーケストラピット ・袖幕、文字幕、東西幕、緞帳
【前期】 21～30回目	尺貫法／経済寸法 ・寸・尺・間 サイズ ・平台、箱馬のサイズ
【前期】 31～40回目	山台組の基礎 ・箱馬を互い違いにして組む方法 ・ケコミ幕、ケコミ板
【後期】 1～8回目	舞台監督／進行／ライブの一日の流れ タイムテーブルの作り方
【後期】 9～16回目	立ち位置／バミリ／導線／ケーブル養生
【後期】 17～24回目	工具の使い方
【後期】 25～32回目	簡単な製作物
【後期】 33～44回目	ライブイベントのセットの製作
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
学生へのメッセージ	スタッフとして相応しい格好(スニーカー・黒ズボン・黒Tシャツ/トレーナー) 支給iPad・必要工具(LEDライト・ビニールテープ・マジック類)クリップボード持参
使用教科書	オリジナルPDFテキスト

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	舞台製作実習 I-B		授業形態 / 必・選	実習	必修
			年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	82回(164単位時間)	年間単位数	5単位
科目設置学科コース	<<音楽芸能スタッフ科>> 舞台製作コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目		該当 ☒	非該当 ☐	
担当講師 実務経歴	実務経験:32年 大道具会社～舞台監督会社を経て、現在海外アーティストを含む数多くのアーティストの全国ツアーを手掛けている舞台監督。				
授業概要					
舞台業界標準となっている図面アプリケーション「VectorWorks」を使用し、図面の基本・基礎を学ぶ。					
到達目標					
舞台図面の作成技術の向上・各図面から細部にわたる情報の読み取り方の取得。					

授業計画・内容	
【前期】 1～10回目	ツールの用途・使用 舞台図面(読み方・書き方)
【前期】 11～20回目	舞台図面(平面図・読み方・書き方) テーマを元に舞台平面図を作成
【前期】 21～30回目	舞台図面(側面図・読み方・書き方) 舞台図面(正面図・読み方・書き方)
【前期】 31～40回目	テーマを元に舞台正面図を作成
【後期】 1～8回目	舞台図面(平面図・正面図・側面図・読み方・書き方) 図面から劇場毎の違いを読み取る
【後期】 9～16回目	テーマを元に複数の劇場毎に図面を落とし込む
【後期】 17～24回目	図面からアリーナ・劇場の違いを読み取る
【後期】 25～32回目	テーマを元に複数の劇場・アリーナ毎に図面を落とし込む
【後期】 33～42回目	学生イベントのプロット作成
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
学生へのメッセージ	大道具作製に大切な図面をつくる為ノウハウを早く身に付けましょう。
使用教科書	オリジナルPDFテキスト

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	舞台製作実地演習 I	授業形態 / 必・選	演習	必修
授業時間	180分(1単位時間45分)	年間授業数	9回(36単位時間)	年間単位数 2単位
科目設置学科コース	<<音楽芸能スタッフ科>> 舞台製作コース			
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目		該当 ☒	非該当 ☐
担当講師 実務経歴	各科目担当講師、及び研修先のご担当者様等。			
授業概要				
それぞれのイベント等において接客対応、現場における作業について研修を行う。				
到達目標				
現場における作業、流れ等のノウハウ習得。 イベント等を協力して作り上げることによるコミュニケーション能力の向上。				

授業計画・内容	
1～2回目	学生コンサート・ライブ実習①② 各セクションの作業内容、タイムテーブル、関連性を学ぶ
3～4回目	外部コンサート・ライブスタッフ研修 ①屋内会場 ②屋外会場
5～6回目	学園祭準備①②
7～8回目	学園祭①②
9回目	学園祭片付け、原状回復
評価方法	平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
学生へのメッセージ	この演習を通じて、現場における流れや、他社とのコミュニケーションの仕方等確りと学んでください。
使用教科書	当日の役割分担表、業務要項等を配布